

## シンガポール留学における学び、埼玉の未来

常夏の青空が今日もまぶしいシンガポール。私がこの国で過ごし学んでもっとも強く感じたことは、人々の『エネルギーの大きさ』です。

なぜこんなにも、この国の人々はエネルギーに満ちているのだろうか。

中華系、マレー系、インド系の人々が混ざりあって道を行き交う。威勢のいいおじさんが作るチキンライスに長蛇の列ができるホーカー。一方でマリーナベイサンズの観光産業や金融街に代表される現代的な一面。これらは

もちろんシンガポールに見られるエネルギーの源泉であるはず。しかし、私が実際に肌で感じたエネルギーは特に『若者の自国に対する誇り、未来への自信』によるものでした。

私が在籍したシンガポール経営大学では、多くの学生が高い志と競争心を持って授業に臨んでいます。例えば、日曜日にも関わらず大学の図書館は勉強をする学生で満席。また、授業内容も卒業後、国際的にビジネスを展開していけるような実践的内容を学んでいきました。このように、日本の大学とは雰囲気が違う環境と学生の中でともに学んでいくことは、私にとって大変貴重な刺激となりました。

その中で、シンガポールのエネルギーの源泉は未来を担う若い学生たちなのではないか、と感じるようになりました。なぜなら、シンガポールの学生には夢があり、なにより自国であるシンガポールを大切に思う気持ちがあるからです。私は『日本人』として彼らと接して、日本の学生はもっと自分自身と私たちの国に自信を持ち、明るく未来を創っていけるのではないかと考えました。

そのためには、外へアンテナを広げることを怖がらず色々な経験を積んでいかななくてはなりません。私にとってこの留学生活は、多くの人に出逢い笑って泣いて、思い出深い経験ができたかけがえのないものになりました。今後も、この経験を新しいスタートと思い、明るい日本の未来を担う大人になれるよう努力いたします。まずは、このような留学をサポートして下さった埼玉県の皆様、在籍大学の方々に感謝いたします。以降は、恩返しのつもりで埼玉県の未来を支えられるよう、グローバル人材埼玉ネットワークなどで微力ながらも貢献して参りたいと思っています。



(上) シンガポール経営大学で行われたPeace Dayの式典のようす。



(上) 大学の図書館。